

竹原市	受
竹	第
5.5.25	号
5.5.25	月
5.5.25	日

議 長	副議長	局 長	局長補佐	次 長	係 長	局 員
						

資料様式第3号

令和5年5月25日

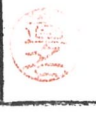
議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名  

視察・調査場	全国市町村国際文化研究所
期 日	令和5年5月22日 ～ 令和5年5月23日
経 費	27990円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目 的	令和5年度市町村議会議員研修〔2日間コース〕 「自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査」
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	自治体決算の意義と審査のポイント ・自治体決算の意義と役割 ・決算を用いた財政診断 ・決算をチェック～令和3年度西宮市決算～ 行政評価を活用した決算審査 ・地方議会の役割及び職員の職務等の明確化 ・行政評価の基本 ・事例紹介～藤枝市～ ・議会と行政評価の関係についてグループ討議
効果・成果 等	決算審査の参考にするために受講した。 研修の資料を参考にして、竹原市の財政診断をして今後の決算審査に臨みたい。 行政評価は竹原市では行われていない。今回の研修で、決算審査において前年度の施策、事業を評価して次年度施策への提言につなげていくことが重要であることがわかった。グループ討議で一緒になった他の市町の議員とも行政評価が必要であることでは一致した。今後他市町を視察するなどして行政評価の仕組み作りを進めていきたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹 第 号
5.5.29
月 日
資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係	長	局 員
						

令和5年5月29 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男 

視察・調査場	神石高原町
期 日	令和5年5月25日 ～ 令和5年5月25日
経 費	1000円
参加者氏名	今田佳男 平井明道
視察・調査目的	サテライトオフィス誘致
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	神石高原町における企業誘致の取り組み ① 「町紹介PR事業 道の駅さんわ182ステーション産直市場3DVR化等業務委託」実施に至るまでの経緯 ② サテライトオフィス誘致までの町との連携事業 ・令和3年度 株式会社spoon - 株式会社D-innovation 3DVR ECサイト構築 ・令和4年度 株式会社HERE - XRスクール運営 - サテライトオフィス改修工事 ③ サテライトオフィスの見学
効果・成果等	神石高原町のサテライトオフィス誘致が成功している新聞記事を読んで視察を申し込んだ。 国のデジタル田園都市国家構想交付金、新型コロナ臨時交付金を活用して、一般財源の負担を事業費の1割程度に抑えて多くの事業を推進していることが良くわかった。交付金申請には膨大な資料を短期間で準備しなければならないが、事業費にコンサル料を含めて申請ができるのではないかと説明を受けた。 以前視察した江田島市と同様に広島県とも情報交換、連携しており、今後のサテライトオフィス誘致の参考にしたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市 受
付 第 号
5.7.31
月 日
資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和5年7月31日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男 

視 察 ・ 調 査 場 所	十日市きんさいセンター
期 日	令和5年7月28日 ～ 令和5年7月28日
経 費	7000円
参加者氏名	今田佳男
視 察 ・ 調 査 目 的	ひろしま議員女子会主催勉強会
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	「地方議員のための役所を動かす質問の仕方」 ・ 首長（執行部）の予算編成スケジュールと一般質問 ・ 成果を出すための一般質問の構造 ・ 成果を出すための段取り・準備 ・ 私がうなった一般質問 一般質問における「成果」とは何か ① 市民への明確な情報提供（共有） ② 隠れていた重要な課題を見える化（理解） ③ 課題解決のための政策を提案し実現（実現） いい質問の絶対要件 ① 現状認識が正確で共有できる ② 課題認識が明確で共感できる ③ 仮説(提案)が充分検証されている
効果・成果 等	講師が以前から研修を受けたいと思っていた地方議員研究会の川本達志さんであったので他の議員に誘われて参加したが、他の自治体の若い議員さんが良く勉強されていることがわかった。 一般質問で成果を出すためには、質問のタイミング、準備の仕方、質問後の施行部との議場外での調整など、学習を継続しなければならないことを強調されていた。 前任期4年間では毎回一般質問をしたが、成果が出る一般質問をするために、今後も研鑽を積みたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局
					

竹原市収受
竹 第 号
5. 8. 9
資料様式第3号
発行年度 月 日
分署記号 保存年数

令和5年8月9日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男



視察・調査場	ふれあい貸し会議室新宿No63
期 日	令和5年8月7日 ~ 令和5年8月8日
経 費	42700円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査的目	一般社団リアン ① 立石美津子講演会 ② YouTube勉強会
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	8月7日 立石美津子講演会 「こどもも親も幸せになる発達障害の子の育て方」 ・2次障害をおこさないために嫌な思いをさせない ・母子の愛着形成 ・幼い頃は家庭をオアシスに 安全を脅かさない ・熱心な無理解者は子どもを苦しめる ・正の行動を強化する 8月8日 UUUMの関係者のYouTube勉強会 午後広島県庁に意見書を提出に行くことになり不参加
効果・成果等	研修などで知り合った全国の議員仲間が創設した一般社団リアンの講演会、勉強会であり参加した。 講演会「こどもも親も幸せになる発達障害の子の育て方」では講師はもちろん、参加者に当事者、支援者が多数おられて経験をもとにした議論がされた。また今まで一般質問などで取り上げてきたひきこもり支援についても、8050問題は3000問題という新しい視点の説明もあり参考にすべき多くがあった。 先日読んだ「先生が足りない」で学校現場が対応に苦慮している状況を理解しているつもりであったが、地域の教育力を向上させる必要性を強く認識した。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹第号
5.10.-4
月 日
資料様式第3号

長	副議長	局長	局長補佐	次長	係長	局員

令和5年10月 / 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男

視察・調査場	全国市町村国際文化研究所
期 日	令和5年10月2日 ～ 令和5年10月3日
経 費	27340円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目的	令和5年度 トップマネジメントセミナー
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	・城跡を活かしたまちづくり ・ヨーロッパの取組から学ぶ豊かなまちづくり ・食(ローカルフード)による地域づくり ・こどもまんなかまちづくり ～こども家庭庁の設立とこども基本法の施行～ こどもまんなかまちづくりが目指す将来像とPDCAの推進 「こどもと向き合う喜びを最大限に感じるための4原則」 ① こどもを産み、育てることを経済的理由であきらめない ② 身近な場所でサポートを受けながらこどもを育てることができる ③ どのような状況でもこどもが健やかに育つという安心感を持てる ④ こどもを育てながら人生の幅を狭めず、夢を追いかける
効果・成果等	前三鷹市長、こども家庭庁参与の清原慶子さんの「こどもまんなかまちづくり」の講義に期待して受講した。 こども家庭庁の方向がデータを基にして詳しく説明された。また三鷹市長時代の「こどもサミット」を開催、小学校校舎、中学校体育館の建て替え時に児童・生徒の意見を聴く、教育委員会では「こども熟議」「おとなとこどもの熟議」を開催、などこどもの声を聴くために実施した取組が紹介された。 こども基本法で規定される地方公共団体の責務には、市町村こども計画の策定が努力義務化され、今後議会でも議論すべきことがあると考える。参考となる有意義な講義であった。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹 第 号
5.12-4
資料様式第3号
月 日
保存年数

議長	局長	局長補佐	次長		
					

令和5年12月4日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 今田佳男 

視察・調査場	地方議員研究会
期 日	令和5年12月1日
経 費	22140円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査的目	1期目議員のための 議員活動新人研修
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	・1期目にやってほしいこと、注意してほしいこと ・議員と職員の関係 ・基礎知識としての財政のポイント ・執行部を知る ～役所の体質～ ～予算のスケジュールと役所の政策決定の仕組み～ ・議員が本来的にすべきこと ・「役所を動かす質問の仕方」の必須条件 ～質疑や質問の組み立て方～ ～先進事例導入を提案・質問するときの留意点～
効果・成果等	対象は今年の統一地方選挙後の1期目の地方議員のセミナーであったが、わかりやすく説明していただいた。 ・既存制度の学習は必須。 ・議員は、行政の「課題」を見つけることが最大の仕事。 ・いい一般質問をして、住民全体の「福祉の増進」に関して成果を出す。 今後の議員活動に有益な情報が多く、基本を再確認して学習を続けていきたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹 原 市 収 受	
竹	第 号
5.12.13	
年月日	月 日
分 割 号	総 割 号

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和5年12月13日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査 場 所	片山さつき出版記念朝食セミナー 他
期 日	令和5年12月10日～11日
経 費	54400円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査 目 的	片山さつき出版記念朝食セミナー 衆議院議員会館 寺田稔事務所 情報収集
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	片山さつき出版記念朝食セミナー 「給与倍増 名目GDP1000兆円計画！」 出版記念セミナー 衆議院議員会館 寺田稔事務所 情報収集
効果・成果 等	早朝8時からのセミナーであったが、参加者は約600名で地方議員も多数参加していた。 日本各地で検討、進行されている事業について説明があり、また、経済の予想についてもが討論され、今後の参考となった。 セミナー後、衆議院議員会館寺田稔事務所を訪問して、政策秘書から情報収集をした。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹 第 号
6.1.2 資料様式第3号
年月日
保存年度

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和6年1月23日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査場	地方議員研究会
期 日	令和6年1月22日
経 費	47140円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目	現場から視る家庭教育支援 現場から視る不登校支援
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	現場から視る家庭教育支援 少子高齢化だからこそ求められる家庭教育支援 家庭教育支援チームやチーム学校で家庭教育を支える こども家庭庁設立における「こどもまんなか社会」 不登校予防はひきこもり予防～家庭教育支援事例研究～ 現場から視る不登校支援 増加の一途をたどる現在の「不登校」とは 誰一人取り残さない不登校支援とは ヤングケアラーなどの様々な課題に何ができるか 保護者の声と不登校支援の実際
効果・成果等	講師の山下さんは、以前(一社)家庭教育支援センターペアレンツキャンプに勤務されており、その頃より研修を受講し、事務所を訪問することで情報提供をいただいている。不登校、ひきこもりの支援には家庭教育支援が必要と考え今回受講した。 不登校児童生徒が増加している状況が詳しく説明され、また、他市の事例として、家庭教育支援チーム、AI、タブレット、メタバースの活用が紹介された。今後他市を視察するなどして情報を収集して、研修の成果を出していきたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹 第 号
-6, 2, -6
月 日
資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係	長	局
						

令和6年2月6日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査場 所	株式会社 廣瀬行政研究所
期 日	令和6年2月5日
経 費	34120円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目 的	財政を理解して、より説得力のある政策提案につなげよう！ 前尼崎市長 稲村和美
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	・政策の実現を阻むものは何か？ 1) 必要性・重要性の合意が形成されていない 2) 予算がない。(優先順位・費用対効果含む) 3) 実施体制が確保できない(定数も予算のうち) ・政策にかかる予算を具体的に考えてみよう 政策の実現＝費用の支払い完了ではない 1) 単発の支出か継続的な支出か？ イニシャルコストとランニングコスト 2) ハードとソフトの優先順位を比べるのは難しいが 国からの補助金・起債の条件・後年度の公債費 ・地方財政計画の動向を押さえておこう ・単年度だけでなく、将来の収支見通しを踏まえる重要性 自治体は黒字を出すことが目的ではないが ソフト面 ＝ 少子化・高齢化・人口減少時代 ハード面 ＝ 「つくる」から「つかう」の時代
効果・成果等	講師は前尼崎市長であり、高度経済成長期の右肩上がりの税収の時代から、バブル経済崩壊、阪神淡路大震災を経て厳しい状況であった市財政を、行財政改革プランを実行し、収支均衡、将来負担の抑制、基金残高の確保をして改善した経験を中心にした研修であった。少子高齢化で今後扶助費が増加することが予想されること、公債費＝事業費であることは注意が必要であることを強調された。尼崎市の政策評価(決算査定)から予算編成へつながるプロセスは参考にするべきと思う。今後一般質問などで政策提案をして研修の成果を出したい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。